

巖神青

〔内 容〕

- ・第六回親子禊錬成会開催
- ・事業米奉献出雲旅行開催
- ・東北六県禊錬成会参加
- ・震災復興支援活動
- ・鵜住神社地鎮祭助勢
- ・関口神社餅つき助勢
- ・岩手護國神社戦没者追悼
- ・平和祈願祭助勢
- ・第一回役員会開催
- ・暑気払い会開催
- ・事業頒布品頒布活動
- ・田村宮司県議選挙支援活動報告
- ・六十五周年事業完遂報告
- ・役員インタビュー
- ・下半期事業計画

第六回親子禊錬成会開催



二十七名の児童の参加のもと、八月十一日（火）、第六回を数える「親子禊錬成会」が岩手県神社庁・岩手護國神社・そして築川を会場に開催された。新山参事様を来賓に迎え、開講式を執り行い、早速護國神社へ参

進し正式参拝を執り行う。修祓の後菅原会長と児童代表が玉串を奉って、七十年前へ思いを馳せた。神社庁へ戻り、第一講は当会副会長の菅村孝一郎先生より「日本の神様について」と題してお話を賜った。菅村先生は、神話をひもときながら、いかに回りの目に見えない神様に生かされているか”に気づき、感謝の心を持って生活して欲しいと語りかけていた。



第二講では当会常任委員の千葉浩之先生が「護國神社の神様」と題してお話し、先に参加した護國神社に祀られていた神様がどのようになら存在か説明し、今の平和な日本があるのは御英霊のお陰であり、感謝の心を忘れないと締めく

くつた。
 第三講はお待ちかねの「禊」。引き続き千葉先生が担当し、ただの水遊びではなく、心と体を綺麗にする方法だとして説明頂いた。着替えをして築川に移動。鳥舟行事などを行ってから川に入り、水の流れて若干速く足を取られる姿も見られる中、立派に禊を執り行うことが出来た。今回初めて道彦を努められた千葉先生には、大変ご苦労様でした。



禊でお腹がすいた後は、会員手作りのハヤシライスでお腹を満たす。隠し味のワインを用いた谷藤書記の絶妙な味付けに子供・会員一同無言でスプーンを口に運ぶ。満腹になった後は、腹ごなしのレクリエーション。花輪地区委員の担当の下、水風船をバケツに投げ入れたり、水風船を割らないよ

うにキャッチボールをしたり、大きなシャボン玉を作ったりなど、各自大いに楽しんでいた。最後は花輪会員をめぐり、水風船の投げ合いが始まり、水もしたたむるいい男となった花輪会員も、とても楽しそうだった。夏らしき満点のかき氷やスイカにも舌鼓を打ち、子供達の歓声響き渡る中、レクも



お開きにレクが終わった後は閉講式を執り行い、一人一人に修了証を手渡し、来年の再会を誓って解散となった。会場をお貸しくださった神社庁様、岩手護國神社様には大変有り難く御礼申し上げます。当日の運営に協力頂いた会員はもろろんのこと、準備等にご尽力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。

創立六十五周年記念事業
 事業米奉獻出雲大社参拝旅行開催

七月二十七日(月)二十
 八日(火)にかけて、岩神青
 創立六十五周年記念事業
 「出雲大社への事業米奉獻
 参拝旅行」が開催された。台
 風十二号が島根県に迫り、
 開催が危ぶまれたものの変り、
 当日の朝熱帯低気圧に変わ
 り、無事に出発することが
 出来た。出雲縁結び空港へ
 降り立つと、幸運にも雨こ
 そ降っていかないもの、湿度
 の影響か想像以上に湿度
 が高い。早速レンタカーに
 台に乗り込み、神社参拝の
 旅へと繰り出す。まずは神
 魂(かもす)神社へ。ここは
 最古の大社造りが現存する
 お社で、荒木先輩のご学友
 にご案内頂いた。次に熊野
 大社、その後八重垣神社に
 続けて自由参拝。どの御社に
 殿も向拝に鈴が付いていな
 い点が印象的だった。宿に
 向かったのは今回の「次出
 雲ロイヤルホテル」。ホテル
 で着替えを済ませた後、島

根青神との懇親会会場へと
 タクシーで移動。「神門」と
 いう居酒屋で約二十名の参
 加者のもと、出雲大社高橋
 権禰宜様のご挨拶を頂き、
 乾杯を執り行なって懇親を深
 め合った。その後二次会、締
 めのラーメンと島根青神の
 方々にはご案内頂いて、懇
 親を深めたいながら出雲の
 夜は更けていった。



二日目。日御碕神社へ自
 由参拝の後、出雲大社へ正
 式参拝。芳名帳に記帳の後、
 川谷総務部長様からご挨拶
 賜り、金子権禰宜の案内の
 元正式参拝。岩手から持参
 した六十五周年事業米と奉

献酒が奉納され、菅原会長
 が玉串を奉って拝礼した。
 正式参拝後は高橋権禰宜、
 金子権禰宜、松尾学芸員に
 境内を案内して頂いた。特
 にも本殿裏の素鷲社は崇
 敬者に格別の信仰があるお
 社で、稲佐の浜の砂を奉納
 して持ち帰ると宅地の清め
 になるという民間信仰があ
 るとご説明頂いた。神楽殿
 の守札所には、東日本大震
 災の募金箱が設置され、ま
 だ忘れられがちなこと
 内を散策した後は、古代出
 雲博物館にて引き続き松尾
 学芸員にご説明賜り、ただ
 見ているだけでは分からな
 い詳細な解説を頂いて大い
 に理解が深まった。歩き回
 った時間が、出雲大社の職
 食の時間の「平和そば本店」
 オススメの「平和そば本店」
 で、カツ丼と蕎麦のセット
 を頂く。煮込み系カツ丼と
 もかかわらず衣がサクツツ
 していか、今までにない食
 感に一同会話も忘れてない
 込む。蕎麦も歯ごたえがあ
 り、出雲蕎麦を堪能する。満
 腹になった後は、腹ごなし
 に平門の大遷宮を機に、出
 雲大社前町で整備されたお
 土産物横町で散策。若者向



けのおしゃれな店が軒を連
 ね、若い方々や外国の方の
 姿も多く見かける。蘇り
 大遷宮という言葉はまさに
 遷宮を端的に言い得ている
 のだと実感した。せっかく
 出雲に来たのだからとも
 一軒「羽根屋」というそば屋
 へ。出雲蕎麦は三段に分か
 れて出されるが、満腹の
 我々は一段だけ注文。ここ
 らの蕎麦も絶品。ここで時
 間もなく空港へ一路
 ひた走る。出雲から名古屋
 名古屋から花巻という帰り
 の飛行機も、来るときの飛
 行機と同じ、そして添乗員
 も同じというミラクル。縁
 結びの御神徳の絶大さを実
 感した帰路だった。



六月十七日、十八日に山
 形県天童市の天童ホテルに
 於いて東北六県神道青年協
 議会禊練成会が執り行われ
 た。本年の参加者は総数九
 十六名。当県からは十四名
 が参加した。第一講は「日本
 人と暦の祀りと祭り」に欠か
 せない暦の役目」と題し
 暦作家・暦法研究家の井上
 象英先生を招き神社の祭り
 と暦の関わりや日本書紀と
 暦の関係など講義頂いた。
 第二講では東根市の大滝
 に会場を移し禊を行なった。
 素晴らしい景色の中、清々

東北六県禊練成会参加

御奉迎、御奉送に山形県神
 道青年会・宮城県神道青年
 協議会の会員と共に参加。
 貴重な体験が出来たことに
 心より感謝したい。



だるうか。心身共に穢れが
 祓われたと信じ懇親会へ。
 山形県内の地酒を数多く用
 意頂き、会員皆が懇親を深
 める事が出来たと感じた。
 二日目の第三講は初の試
 みとして、渋谷宣寛山形県
 神社庁長を講師に各単位
 の教化活動報告が行われた。
 各県で様々な事業が開催さ
 れている事を知る良い機会
 となった。当県では小保内
 副会長、花輪地区委員が親
 子の集め方について発表。子
 供達に移動。天皇皇后両陛下
 の禊練成会后、谷地八幡宮

子を並べ、旗を揚げ、祭場を補設し、受付の机や椅子を並べ、習礼を綿密に執り行う。一通り準備作業が終った後、受付にて神道青年全国協議会並びに岩手県神道青年会よりの玉串料をお渡しし、時間まで待機。十一時から各自随時手水を取り、菅村副会長の先導の元参進開始。修祓の後天皇陛下のお言葉を拝聴する。献饌の後天皇陛下よりの幣帛及び本庁幣をご神前にお進めし、宮司が祝詞を奏上した。祝詞奏上終わって、英霊にこたえる会岩手県本部会長が祭文を奏上し、火焚神事に移る。菅原会長が陰灯を手に持ち、拝殿前の火焚串に点火。祭員の大祓詞が響き渡る中参列者が残りの火焚串をくべ、それぞれ祈りを捧げた。火焚神事の後は、宮司玉串拝礼に続き、参列者が玉串を奉りて拝礼。神饌を撤して納める一拝を行い、無事祭典を終えることが出来た。

片の、椅子や旗などは無事片付けることが出来た。祭

六月二十五日、盛岡八幡宮にて第一回役員会が開催された。本年は終戦七十周年にあたり、英霊に感謝の誠



第一回役員会開催並びに
護国神社清掃奉仕作業実施

典中に雨が降らなかつたことは奇跡に近く、御英霊のご加護を感じずにはいられなかつた。

この貴重な機会を与えて下さった岩手護国神社様には、心よりの感謝を表したいと思う。また祭典中の写真を提供下さった澤目権禰宜さまにも感謝申し上げます。次第である。

つた。また、役員会後の懇親会は串焼きダイニング「えびすけ」で行われ、役員



を捧げるべく役員会開催ごとに護国神社の清掃奉仕活動をすることに決定していたが、当日は天候にも恵まれ、除草作業(草とり)を中心とした清掃奉仕活動を凡そ一時間かけて行つた。その後の役員会では、上半期事業や今年第六回を迎える親子禊錬成会の開催の件を中心に積極的な協議が行われ、充実した内容とな

参加青年会員は政界関係者との交流を通じ、国政の身近に感じ、政治と日本の未来について熱く語り合ひ、夜は更けていった。



暑気払い会開催

八月二十二日、当会の暑気払いが北上市の「風土」にて開催された。来賓に社社長様はじめ多数の神社関係者様、そして今回初めて衆議院議員藤原崇様はじめ政界関係者様のご臨席を賜り、貴重な交流の機会となつた。

暑気払い会開催

事業頒布品頒布活動実施

八月二十五日、渡り温泉で開催された神社関係者大会において、当会事業頒布品頒布活動を行った。多くの会員のご協力の下、例年以上の頒布を行うことが出来た。感謝申し上げる次第である。



志賀理和氣神社宮司田村勝則様県議選挙に拘わる時局対策支援活動を振り返って

時局対策委員長 鈴木 都宏

先ず以て、田村勝則先輩におかれましては、先の県議会議員選挙におかれまして、見事に当選の誉れを得られましたこと衷心よりお祝い申し上げます。



さて、この度の青年隊活動は八月十八日から九月三日迄の約二週間、総勢四十名での支援活動となりました。活動内容と致しましては、ポスティング・後援会入会者への電話依頼・選挙遊説後方車運

転やアナウンスなどの活動をさせて頂きましたが、昨年経験させて頂きました衆議院議員選挙とは違い、地元密着選挙でもあり又、神職として初の県議会議員誕生と言った偉業達成も兼ねておりましたので、我々青年隊は選挙スタッフの方々と一致団結し、田村勝則先輩を「県政へ」の言葉を胸に微力ながら活動させて頂きました。開票当日は、会場に設置されたテレビを皆さんでかじりつくように見ておりました。



だが、当確の吉報が入った時の盛り上がりは、今も脳裏に焼き付いております。田村勝則先輩におかれましては、もう既に県議としての公務を始められていることと存じますが、神職と県議両方を全うする為にもお体には十分にお気を付けたいだけだと思います。



結びに、時節柄社務ご多用の折に支援活動にご協力頂きました青年隊の皆様、厚くお礼を申し上げます。皆様とさせていただきます。本当にお疲れ様でした。

一言

▼①吉田浩明(よしだひろあき)②顧問③花巻支部④熊野神社⑤既婚(子供一人)⑥映画鑑賞⑦Zealios⑧旅行(願望)⑨初心を忘れない⑩『歴史とは何か』(エカイ著)『神主の信と学』(櫻井勝之進著)⑪清新⑫神々を信仰すること⑬⑭⑮新体制が、更に同世代の青年神職の連携と切磋琢磨をもつて、斯界の発展に寄与することを見守る

▼①伊藤幸夫(いとうさちお)②顧問③北上和賀郡支部④幸神社⑤独身⑥モータースポーツ⑦Zealios⑧百姓県内神社参拝⑨基本⑩思いつかない⑪ひたすらに⑫むずかしい⑬会長を中心に⑭内若手神職を盛り上げてもらっていた⑮一般企業の実情を見てほしい⑯菅原会長を支えていければ

▼①鈴木都宏(すずきくにひろ)②常任委員・時局対策委員長③上閉伊支部④石上神社⑤既婚(子供一人)⑥野球⑦釣り(海・川)・山菜採り⑧奉務神社の境内

清掃⑨丁寧⑩『嫌われる勇氣』⑪歳月人を待たず⑫日本人の暮らし⑬一致団結しひたすらに⑭〆縄奉製講習会⑮この度は、時局対策委員長の仕事に仰せつかり、身の引き締まる思いでありましたが、役員・会員の協力の下しつかりと活動して行きます。

▼①多田宜史(ただよしふみ)②常任委員・広報委員長③上閉伊支部④遠野郷八幡宮⑤既婚(長女・次女・二女)⑥弓道・読書・カメラ・猫と遊ぶ⑦堺雅人・宗次郎・Bakaragan⑧娘達と遊ぶ⑨遠野の風景を写真に撮る⑩ひとつひとつの作法をおろそかにしないこと⑪古典なら『遠野物語』神道書籍なら『神道原論』(谷省吾著)『マンガなら『拳児』⑫天地ノ初ハ今日ヲ始トスル(北畠親房「神皇正統記」)神主は高尚な乞食である(祖父の言葉)⑬清明正直の実践・天皇陛下の御行為そのもの⑭相互交流⑮他宗教団体青年部との交流⑯カルト宗教対策講習会⑰「巖神青」を相互交流のツールとして使ってもらせるよう頑張ります

▼①千葉浩之(ちばひろゆき)②常任委員・事業委員長③九戸郡支部④九戸神社(本務)、盛岡八幡宮(兼務)⑤既婚(長男、次男、長女)⑥温泉⑦いきものがかり⑧家族で買い物やスポーツ⑨参拝者が神社の神聖さと鎮守の森の安らぎを感じ、自然と笑顔になる心の拠り所となるように考える⑩『緋色』の研究⑪神人と楽⑫日本人として本来あるべき姿⑬全会員各々が高い意識を持った積極的な活動参加。将来を見据えた会員相互のネットワークの構築⑭高校生や中学生などこれから社会に出て行く世代との交流や外国人との異文化交流⑮従来の事業頒布品活動を基とした頒布活動を模索し、更なる増頒布を目指していきたい

▼①小野寺康(おののらやすし)②事務局長③西磐井支部④八幡神社⑤独身⑥思考するコト⑦イチロー・羽

生善治・椎名林檎⑧ポーツと過ごす⑨明浄正直⑩『直日霊(本居宣長)』⑪ただひたすらに⑫清浄⑬主体的な積極性⑭神道教化につながる活動・会員親睦⑮職務遂行
※役員の皆様にはインタビューの提出にご協力をお願いします!

【下半期事業計画 十月～】
十月下旬 盛岡少年刑務所収獲感謝祭
十一月 盛岡少年院収獲感謝祭
十一月 会員懇親会
十一月 第三回役員会
二月 建国記念の日奉祝活動
三月 青年神職研修会

【編集後記】
前号を発行してからあつという間の四ヶ月でした。一大行事である親子禊錬成会をはじめ行事が多く、紙面の量も増えてしまい、目を通すのも一苦労かと拝察します。ここまで読んで頂き、感謝致します。(宜)

発行所 岩手県神道青年会
住所 一関市釣山一九 八幡神社社務所内
電話・FAX 〇一九一―二三―二九〇六